

「キャンパスの創造的再生に寄与するデザインとマネジメント」

2014(平成26)年9月11日(木曜日)

主催：(一社)日本建築学会 都市計画委員会 大学・地域デザイン小委員会

第I部 関西大学 千里山キャンパス見学会 (第II部参加者対象)

集合場所： 第4学舎3号館エントランスホール
時間： 13:00～14:00 <12:45集合、12:30受付開始>
協力： 関西大学 管財局管財課、関西大学 キャンパスデザイン室

関西大学千里山キャンパスの、緑と大地と建築が融合する景観は、初期から携わられた建築家、故・村野藤吾氏により形作られました。

村野事務所による関西大学の自筆の設計図は今も残っています。大地と建築が融合する配置計画や、建築と大地をつなぐスロープなどに、何度も図面を直して力を注がれている情熱が、現在まで沸々と伝わってきます。

第II部 第18回 情報交流シンポジウム

時間： 14:30～17:30
会場： 関西大学千里山キャンパス 第4学舎3号館 講義室
参加費： 会員1000円、会員外1500円、学生500円
協力： 文教施設協会、日本ファシリティマネジメント協会、大学行政管理学会



関西大学千里山キャンパスデザインガイドライン2014より

国際化によって我が国の大学キャンパスにも世界水準の空間が求められるようになり、キャンパスにおけるオープンスペースやコモンズ(学生のための共用スペース)の重要性は、近年、空間計画以外の分野からも注目されている。

1998年に開始したこの情報交流シンポジウムは、キャンパス計画やまちづくりに関する実務者・研究者が情報交流をおこなう場であり、今回18回目となる。

昨年のテーマ「次世代に向けた大学キャンパスと地域の創造的再生」の議論をうけて、今年は空間計画の原点に立ち返りながら、具体的な空間デザインに展開する手法やマネジメントしていく手法について、近畿地方のオープンスペース再生等の事例を参照しつつ、これからの課題や展望を議論していきたい。

●開会挨拶および主旨説明： 大学・地域デザイン小委員会 主査 上野 武(千葉大学)

●講演

◇地域住民や学生教職員とつくる大阪大学キャンパスの屋内外共用空間

吉岡聡司(大阪大学キャンパスデザイン室 准教授)

◇歴史のある関西大学千里山キャンパスのマネジメントとこれからの空間創造

市原 淳(学校法人 関西大学 管財局管財課 課長) + 星田逸郎(星田逸郎空間都市研究所)

◇東京藝術大学上野キャンパスでの取り組み - 創造していく人間をサポートする環境づくり -

古暮和歌子(東京藝術大学 キャンパスグランドデザインプロジェクト室 特任助教)

◇キャンパスの創造的再生と共用空間のマネジメント

都外川一幸(文部科学省大臣官房文教施設企画部 計画課整備計画室室長補佐)

●ディスカッション - キャンパスの創造的再生に寄与するデザインとマネジメント -

パネラー： 上記講演者、 進行： 吉岡聡司(前掲)

●まとめ 土田 寛(東京電機大学)

司会・副司会： 武田史朗(立命館大学)・土田 寛(前掲)

記録： 池上真紀(北海道大学)・小貫勅子(東北大学)

シンポジウム終了後、18:30～同キャンパス内(未定)にて、懇親会を行います。会費は5,000円程度予定(学割あり)。みなさまふるってご応募下さい。

シンポジウムのお申込み

8月15日(金曜日)までに、氏名・所属・メールアドレス・見学会と懇親会の出欠とともに、池内祥見(大阪大学) ikeuchi@arch.eng.osaka-u.ac.jp までお知らせください。



会場アクセス

阪急千里線「関大前」駅下車、集合場所まで徒歩15分
関大前駅まで 阪急梅田駅から約20分、

- 大阪空港(伊丹)からは、モノレール山田駅乗換で関大前駅まで30分少々。
- 新大阪駅(新幹線)からは、地下鉄西中島南方駅乗換、阪急淡路駅経由で、関大前駅まで約30分。

参考：建築学会大会(9/12～)会場

(神戸大学)へのアクセス：

- 阪急六甲駅まで梅田から約30分(梅田から特急に乗り、西宮北口で普通に乗換)
- 阪急六甲駅から神戸大まで徒歩20分、またはバス(JR六甲道駅からも市バスでアクセス可)